

子育て・教育の取り組み

ヤングケアラー連絡窓口の設置

ヤングケアラーの早期発見・早期対応を目的として、8月には連絡窓口を区役所保健福祉課子育て教育担当に設置しました。

ヤングケアラーとは？

一般的に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どもとされています。

保育・子育てコンシェルジュによるリモート相談窓口の開設

8月から、パソコンやスマートフォン（Microsoft Teams）を使って、自宅などから相談できるリモート相談窓口を開設。専門の相談員による保育所等の入所手続きや、地域で利用できる子育て施設のことなど、保育・子育てに関する相談を受け付けています。



子育て応援アプリ「わくわく」の開始

子育てに役立つ情報・さまざまな機能で「わくわく」楽しい子育てを応援します。



人権サミット

人権擁護宣言の全文や当日の様子を動画で公開しています▶



第73回人権週間にあわせた人権啓発活動として、令和3年12月12日（日曜日）に城東区民センター2階 城東KADO-YAがもよんホールで城東区人権サミットを開催しました。

内容と当日の様子

基調講演

「いきいき高齢者と支えあうまちづくり」

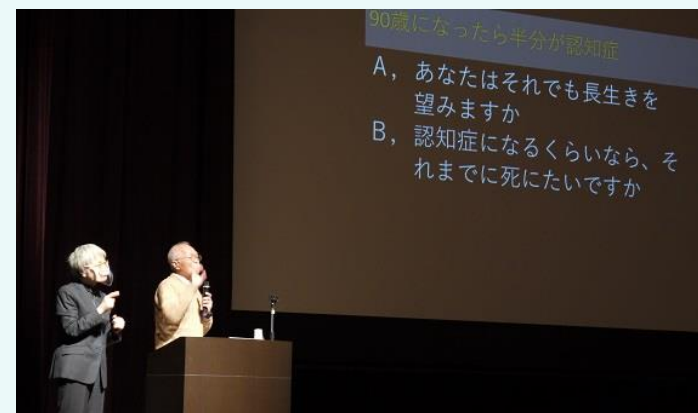
桃山学院大学 名誉教授 石田 易司氏

大阪市における高齢者の現状や高齢者の人権保護の考え方、いくつになっても生きがいのあるまちづくりに向けてのご講演をいただきました。

意見交換会

高木 正博氏（城東区地域振興会 会長）、松井 千佳氏（特別養護老人ホームしぎの黄金の里 施設長）、佐藤 佐知恵氏（城東区社会福祉協議会 地域包括支援センター管理者）、川井 邦彦氏（城東区人権啓発推進会議 会長）、鈴木 芳朗氏（城東区人権啓発推進員連絡会 代表）、大東 辰起（城東区長）

地域活動でのお立場、医療介護活動でのお立場、行政の立場など様々な視点から活発な意見が交わされ、ご参観いただいた方からの質疑応答の時間も設けました。最後に城東区長による「人権擁護宣言」の提案をさせていただき、満場一致で採択されました。



いじめ・不登校サミット

いじめや不登校に関する課題や取組みについて、学校や地域、保護者と共有することにより、今後の取組みの検討に活かしていくため、令和4年1月15日（土曜日）に開催しました。

サミットでは、専門家による講演、保護者や地域関係者等を交えたシンポジウム、区内中学校生徒会より代表生徒による、いじめの事例をもとにした意見交換を行いました。

内容と当日の様子

◆基調講演

講師：堀 智晴さん（インクルーシブ（共生）教育研究所所長）

テーマ：いじめと不登校の問題に、協力してとりくもう！

◆中学校生徒会代表生徒による分科会（事例研究）

参加校：放出中学校、城陽中学校、董中学校、鯉江中学校

◆シンポジウム

テーマ：いじめや不登校についておとなたちができること

コーディネーター：堀 智晴さん

パネリスト：

佐々木 美恵子さん（元児童いきいき放課後事業指導員）

中川 景一郎さん（元城東区PTA協議会会長）

堀川指導主事（大阪市教育委員会事務局）

大東 城東区長

◆中学校生徒会代表生徒による分科会発表



その他福祉・生活環境改善の取組み

地域福祉プラン策定

令和4年度から3か年にわたる城東区地域福祉プランを高齢、こども、障がい、地域福祉の各分野の専門家の意見を聞き、区政会議（地域福祉部会）での審議、パブリックコメントを経て策定しました。今後、プランにおける具体取組みについてPDCAを回しながら、目標とする「地域共生社会」の実現に取り組みます。

認知症対策

高齢化が進む状況下において、認知症対策は重要な取組みです。

- ・ 区広報紙3月号「認知症について」の特集記事を掲載、啓発ポスターを区広報版に掲載し、周知のうえ啓発
- ・ 認知症予防の取組みとともに、認知症サポーター、オレンジサポーター・パートナーなど、地域における支援者の拡充と関係機関の連携による支援の強化

生活環境改善の取組み

- ・ 動物に関するお困りごとアンケートの実施
- ・ 地域で野良猫の管理を行うまち猫活動の広報、ハト・カラスなどの餌やりに対する啓発（広報紙、ポスター、チラシ、広報車、ホームページ、ツイッターなど）

▼ふれあい城東3月号